文部科学省事業：「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」採択事業
多職種協働市民公開シンポジウム

がん予防の保険診療：先制医療の幕開け

「がんになる前に、手術を受ける」――　これまで自費でしか選べなかった選択肢が、令和8年度診療報酬改定によって、遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)の未発症者に対しても保険診療として認められることになりました。遺伝情報をもとに将来のリスクと向き合い、発症前に備える「先制医療」がいよいよ本格的に幕を開けたといえます。
本シンポジウムでは、遺伝情報に基づくがんのリスク管理や遺伝カウンセリングの実際を、現場の専門家が解説します。

プログラムの詳細は裏面をご覧ください ▶

2026
8.29 SAT

13:00～16:25（開場 12:30）

開催形式：現地+Web〈ハイブリッド開催〉

場所：国際医療福祉大学
東京赤坂キャンパス多目的ホール

対象者：
- 第1部：がん医療に携わる医療従事者、がん医療を志す学生
- 第2部：一般市民の方、医療従事者、学生

お申込み方法

申込締切：2026年8月27日（木）まで

下記2次元コードからアクセスしてお申込みください

第1部（医療従事者向け）
https://forms.gle/gyucHx2pXCF92ps77
※第1部はお申し込み時に、
ご所属（病院名・学校名等）の入力が必要です。

第2部（一般市民の方向け）
https://forms.gle/Rd9sXQMx8Ech1kiV6

主催：次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン　国際医療福祉大学大学院 共催：遺伝の専門医・専門看護師・カウンセラー等の人材養成ワーキンググループ

国際医療福祉大学大学院
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

お問い合わせ先
国際医療福祉大学大学院　がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン 事務局
Email. ganpro-jimukyoku@ihwg.jp

国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス
〒107-8402　東京都港区赤坂4-1-26
TEL.03-5574-3900（平日9:00～17:00）
FAX.03-5574-3901
〈アクセス〉https://akasaka.iuhw.ac.jp/about/access/index.html



がん予防の保険診療：先制医療の幕開け

Webサイトはこちら

Program

第1部（医療関係者向け）

◆13:00～13:05　開会挨拶　矢冨 裕先生（国際医療福祉大学大学院長）

座長：赤木 究先生（国際医療福祉大学成田病院 遺伝子診断センター部長）

◆13:05～13:20　イントロダクション
「令和8年診療報酬改定：遺伝情報に基づく先制医療への評価がもたらすインパクト」
西垣 昌和先生（国際医療福祉大学大学院 遺伝カウンセリング分野教授）

◆13:20～13:40　講演1
「遺伝情報に基づいたがん医療」
赤木 究先生（国際医療福祉大学成田病院 遺伝子診断センター部長）

◆13:40～14:00　講演2
「遺伝性乳癌のリスク管理：サーベイランスとリスク低減手術」
加藤 昌弘先生（国際医療福祉大学三田病院 乳腺センター部長）

◆14:00～14:20　講演3
「リスク低減卵巣卵管切除術の実際」
上田 和 先生（国際医療福祉大学三田病院 副院長、婦人科部長）

◆14:20～14:40　講演4
「遺伝性腫瘍のリスク管理と遺伝カウンセリング」
西垣 昌和先生（国際医療福祉大学大学院 遺伝カウンセリング分野教授）

◆14:40～15:00　総合討論・総括

第2部（一般市民の方向け）

「がん家系」だと思っていたら、実は遺伝性のがんかもしれません。
家族にがんの方が多い場合は、生まれつきがんになりやすい体質による遺伝性腫瘍が含まれることがあります。
代表的な遺伝性乳がん卵巣がん症候群（Hereditary Breast and Ovarian Cancer；HBOC）では、保険診療のもとで遺伝子検査や予防医療が進んでいます。
遺伝性のがんの特徴や早期発見・予防について、市民公開講座でわかりやすくお話しします。ぜひご参加ください。

◆15:20～15:50　市民公開講座１
「がん医療の進歩：遺伝情報に基づく治療と予防」
赤木 究先生（国際医療福祉大学成田病院 遺伝子診断センター部長）

◆15:50～16:10　市民公開講座2
「遺伝情報に基づく医療の広がりと社会」
西垣 昌和先生（国際医療福祉大学大学院 遺伝カウンセリング分野教授）

◆16:10～16:20　質疑応答

◆16:20～16:25　閉会の辞
西垣 昌和先生（国際医療福祉大学大学院 遺伝カウンセリング分野教授）

国際医療福祉大学大学院
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL